

|   |                                    |                |
|---|------------------------------------|----------------|
| [科目名]<br>現代企業論  | [単位数]<br>2 単位                      | [科目区分]<br>専門科目 |
| [担当者]<br>風間 信隆  | [オフィス・アワー]<br>時間:授業開始前後<br>場所:教員控室 | [授業の方法]<br>講義  |
| <p><b>[科目の概要]</b></p> <p>現代社会において我々の生活は企業活動によって大きな影響を受けている。すなわち、今日我々が消費する商品やサービスのほとんどは企業活動から生まれている。企業が「良品廉価」を目指して合理的に経営活動を行うことで我々は豊かな消費生活を営むことができる。同時に企業は多くの働く人々にとって雇用の場となり、この雇用を通じて対価として所得を得ている。企業が競争力を高め、生産性を向上することで大きな利益を実現し、その結果、従業員の所得も増大することで「豊かな消費生活」を送ることができる。また企業の中での仕事が「自己実現」の発揮の場となり、生きがい・働き甲斐を生み出す場ともなる。しかし、他面では、この企業活動がときにそのグローバルな展開によって地域・地方の衰退をもたらしたり、「地球環境温暖化」問題を引き起こしたり、長時間労働や「過労死」といった副作用を生み出したりする場合もある。</p> <p>このように、私たちの生活に大きな影響を及ぼす「現代企業」を日本の社会における企業の在り方に焦点を合わせて多面的・包括的に理解を深めていく。こうして、現代企業社会を理解するうえで、企業の基礎理論を踏まえつつ、日本企業の歴史と経営の特徴、そして現代企業を理解するうえで極めて重要となっているガバナンスについても検討を加えるものとする。</p> |                                    |                |
| <p><b>[「授業科目群」・他の科目との関連付け]・[なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか]</b></p> <p>本学部で学ぶ専門科目の内容の非常に大きな部分が、現代の企業社会の中核をなす企業活動に関わっている。したがって、「現代企業論」は、これから学んでいく多面的・発展的研究の基礎をなす科目であると言ってもよい。あるいは、今後の学修のための舞台を整えるためのものとも言えるだろう。</p> <p>[科目の概要]で述べたように、企業活動のありようによって、私たちの生活は大きな影響を受けている。したがって、現代企業についてしっかりとした基本的な理解を深めることは、企業の活動に受け身になることなく、積極的・能動的に関与していくことができる。企業活動に対する理解を深めることで、これからの私たちの生活を設計する第一歩ともなる。大学で学ぶ学生の皆さんの多くは、卒業後、その進路を企業で働くことに求めているように思われる。その企業がどのようなものであるかを知ることが、これからの自分のより良いキャリア形成にも役立つと考えられる。</p>  |                                    |                |
| <p><b>[科目の到達目標(最終目標・中間目標)]</b></p> <p>今日の日本では圧倒的に多くの企業が株式会社形態を採用している。この企業形態は公企業や協同組合企業とはどのように異なるのか、合名会社、合資会社、合同会社そして株式会社はいかなる特徴を持っているのか、もし自分が起業家として自分で会社をつくるにはいかなる手続きが必要かを学ぶことができる。</p> <p>1990年代以降の経営のグローバル化とともに、戦後の企業の発展を支えてきた「日本的経営」はいかなる特徴を有し、またいかなる変容を迫られているのかを理解することができる。</p> <p>また現代の日本でも大きな関心と議論を集めているコーポレート・ガバナンスの理解を深めることで現代日本企業の競争力強化のためのトップ・マネジメントの在り方、そしてまたこれらの経営者に対する監視と助言機能の強化を目指すガバナンス改革の行方について理解を深めることができる。</p> <p>こうした講義を通じて獲得される、企業活動に対する包括的な理解によって、企業社会において主体的・能動的にキャリア形成を行うことが期待できる。</p>   |                                    |                |

**[学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫]**

授業では、受講学生の皆さんの反応・意見に耳を傾けながら、常に授業の改善を心がけたい。授業へのコメント・改善点があればどしどし申し出て頂きたい。受講者の感想・意見を取り込みながら授業の運営を心掛けたい。

**[教科書]**

勝部伸夫著『日本企業論』文真堂刊、2023年

**[指定図書]**

風間信隆・松田健共編著『改訂版 実践に学ぶ経営学』文真堂刊、2021年

**[参考書]**

授業時において適宜指示する。

**[前提科目]**

なし

**[学修の課題、評価の方法] (テスト、レポート等)**

学期末に定期試験を行う。

原則として、中間レポートを課す。

以上の要素を最終評価にどのように反映させるかについては、「中間レポート」の提出要領の発表時に通知する。

**[評価の基準及びスケール]**

成績評価は学生便覧に記載の通りとする。 A:80%以上 B:70~79% C:60~69% D:50~59% F:50%未満

高い評価を得るためには、要求された課題（試験であれば、設問）に対して、講義した内容にそって、もれなく、かつ理路整然とした理解が示されている必要がある。講義内容を消化した上で、自分自身の考えを展開できている場合は、プラスアルファ（加点要素）となる。

**[教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望]**

大学での学修は、授業内容を単なる知識として「覚えていく」のではなく、授業内容自体を、「自ら考えていく」ための材料として、考える力を身につけ、伸ばしていくことが目指されている。その目的の達成につながるように、すなわち考える材料としての「現代企業論」になるような授業を行っていきたい。多人数の講義形式になるとは思うが、できる限り質疑応答も交えて、双方向のコミュニケーションができるように心がけるので、受け身の受講態度ではなく、積極的に授業に出席・参加してほしい。

**[実務経歴]**

なし

| 授業スケジュール |   |
|----------|---|
| 第1回      | <p>テーマ(何を学ぶか): 経営学と企業<br/>内 容: なぜ企業のことを学ぶのか?</p> <p>教科書・指定図書 第1章</p>                |
| 第2回      | <p>テーマ(何を学ぶか): 日本の企業社会における企業の数と規模<br/>内 容: 企業のサイズはどれくらいか?</p> <p>教科書・指定図書 第2章</p>   |
| 第3回      | <p>テーマ(何を学ぶか): 企業の形態<br/>内 容: 企業にはどのような種類があるのか?</p> <p>教科書・指定図書 第3章</p>             |
| 第4回      | <p>テーマ(何を学ぶか): 株式会社の仕組み①<br/>内 容: 株式会社はどのような組織構造になっているのか?</p> <p>教科書・指定図書 第4章</p>   |
| 第5回      | <p>テーマ(何を学ぶか): 株式会社の仕組み②<br/>内 容: 株式会社はどのような経済構造になっているのか?</p> <p>教科書・指定図書 第5章</p>   |
| 第6回      | <p>テーマ(何を学ぶか): 企業の設立<br/>内 容: 企業はどうやってつくるのか?</p> <p>教科書・指定図書 第6章</p>                |
| 第7回      | <p>テーマ(何を学ぶか): 企業の理論<br/>内 容: 企業は何か?</p> <p>教科書・指定図書 第7章</p>                        |
| 第8回      | <p>テーマ(何を学ぶか): 企業と利潤<br/>内 容: 利潤とは何か?</p> <p>教科書・指定図書 第8章</p>                       |
| 第9回      | <p>テーマ(何を学ぶか): 日本企業の歴史と特徴<br/>内 容: 日本企業はどのように発展してきたのか?</p> <p>教科書・指定図書 第9章</p>      |
| 第10回     | <p>テーマ(何を学ぶか): 日本的経営<br/>内 容: 日本企業はどのような経営を行ってきたのか?</p> <p>教科書・指定図書 第10章</p>        |
| 第11回     | <p>テーマ(何を学ぶか): 株式会社の所有・支配・経営<br/>内 容: 会社は誰が所有し、支配しているのか?</p> <p>教科書・指定図書 第11章</p>   |
| 第12回     | <p>テーマ(何を学ぶか): コーポレート・ガバナンス論の展開<br/>内 容: コーポレート・ガバナンスとは何か?</p> <p>教科書・指定図書 第12章</p> |
| 第13回     | <p>テーマ(何を学ぶか): 日本企業のガバナンス改革<br/>内 容: 改革はどこまで進んだのか?</p> <p>教科書・指定図書 第13章</p>         |

|      |  |
|------|--|
| 第14回 | テーマ(何を学ぶか): 日本の経営者とコーポレート・ガバナンス<br>内 容:日本の経営者とは何か?<br><br>教科書・指定図書 第14章    |
| 第15回 | テーマ(何を学ぶか):CSR・ESG・SDGsとコーポレート・ガバナンス<br>内 容:企業社会はどうか?<br><br>教科書・指定図書 第15章 |
| 試験   | 期末試験を行います。   |